

あかつき 暁

あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

津島市立暁中学校便り

令和4年7月11日(月)

第3日曜日は家庭防災の日

津島市では、毎月第3日曜日を家庭防災の日として、「災害に備え日頃から家族で話し合しましょう!」と呼びかけています。7月は、次の日曜日17日です。テーマは、「夏休みなどを利用して、家族で地域の災害について調べてみましょう」です。



この地域は、過去に大きな災害がありました。地震では、明治24年の濃尾地震、昭和19年の東南海地震、昭和21年の南海地震があります。台風では、昭和34年の伊勢湾台風で大きな被害を受けました。この伊勢湾台風については、地域学校協働本部の皆様が展示してくださった資料を、先月の三者懇談の折にご覧いただけたことと思います。

「地盤が弱い」「大きな川が近くにある」「土地が低い」等、災害に対する弱点がある地域です。土地のことや過去の災害について調べ、教訓を生かして災害に備えることがとても大切だと思います。

思春期講座「いのちの大切さ」

7月7日(木)、津島市保健センターの保健師・助産師の方に、1年生を対象として、思春期講座「いのちの大切さ」を行っていただきました。

ライフプランや胎児の成長等についての講話を聞いた後、代表生徒が妊婦体験をしました。落ちているものを拾ったり靴下を履いたり、といった普段何気なくしていることが、妊婦にとっては大変な作業になることがよくわかりました。分娩についてのビデオ視聴では、生徒はとても感動した様子でした。その後、生徒全員が、実際の赤ちゃんのように作られた人形を使って、抱っこ体験をしました。首がすわっていない赤ちゃんなので、首や頭を支えることに気を付け、いろいろな言葉をかけながら抱いていました。抱いているときの生徒は、誰もが優しい笑顔になっていました。

多くの愛情を注がれて育ててきた自分であることや、自分の命やすべての命はかけがえのない大切なものであることがよくわかったのではないのでしょうか。



【赤ちゃん人形抱っこ体験】